

市政に対する

一般質問

一般質問は、9月19日・20日・21日の3日間にわたり17人の議員が活発な論戦を展開しました。 ※質問・答弁とも質問者が要約しました。

例規集の

総点検を

田口 初江

(問) 例規集は、自治体の作った条例や規則をまとめたもので、自治体運営の基本となるもの。電子化に伴い、利便性が向上した部分もあるが、不都合が生じている点もあるのではないかと。 (答)総務部長 平成12年度に電子化し従来の紙の物を廃止した。電子化により、改正作業の効率化が図られ、また利便性も向上していると判断している。 (問) 最新版例規集に、不整合、不備な箇所がある。本年度中に総点検すべきと考えるか。 (答)総務部長 現在、例規にいくつもの不備があることは認識し

ている。例規と法令や実務との関係をチェックし、整合がとれていない箇所については早急に改正していきたい。

(問) 責任の所在はどこか。

(答)総務部長 全体に関わる改正は庶務課、その他各業務に関わる条例等の改正については各担当課である。今後は、庶務課が取りまとめ、再度チェックして早期に改正していく。

障がい者の新たな拠点整備

(問) 定員を超えた利用者がいる「さつき園」が抱える問題解決等に関して、新たな拠点整備の方向性が示されたようだが。

(答)市長 障害者自立支援法の施行により、さつき園のような法定外施設については、障がい者に適切な日中活動サービスを提供するため平成23年度までに法に基づいた施設に移行するよう国の考え方が示されたことから法の基準に沿った新たな障がい者の通所施設を整備していく。(問) 社会福祉法人葎の里へ委託する方針のようだが、フレンドパーク隣接地では利用者の交通手段が課題と考えるか。そして障がい者の核となる施設を。(答)市長 障がい者のための地域活動支援センターの併設を計画

し平成23年4月開設を目指す。

発達障害・情緒障害の子どもたちに

通級教室を

互 金次郎

(問) ある著名な教育者の言葉に「すべての子どもは生まれながらに尊厳。すべての子どもは生きる力に満ちている。」と。

本年4月より特別支援教育が本格実施となりました。当市ではこの9月から関小小学校に聴覚に障害を持った児童の通級教室が整備されました。通常の学級に在籍しながら、子ども一人ひとりのニーズに応じた細やかな支援が期待される通級教室は、特別支援教育の重要な制度の一つです。学習障害・情緒障害の児童生徒のための通級教室を整備すべきでは。

(答)教育長 県教育委員会へ申請し障害の程度の把握や教員の配置、施設・設備の計画など協議、検討が必要です。現在は開設に向け関係機関より情報を収集しており、早ければ平成21年に開設できるよう準備を進めます。



関小 きこえ・ことばの教室

喫煙者への配慮も考えながら 吉川駅周辺の喫煙規制対策を

(問) 公共の場での喫煙規制や路上禁煙の対策が進んでいます。700度から800度とも言われる歩きタバコは、子どもたちの目線に重なり大変危険です。吉川駅周辺の喫煙規制対策を。(答)市長 啓発物の配布、啓発看板の設置、広報掲載にてモラル向上に努めています。状況の改善の兆候が見られない場合は喫煙規制の導入も検討します。

防災・減災を目指した緊急地震速報の本格実施への対応を

(問) 気象庁は本年10月1日より緊急地震速報を本格実施します。公共施設、学校の対応と市民への周知を図るべきでは。(答)市長 公共施設や学校に有効

安全安心な

まちづくりについて

松澤 正

な受信機、システムを検討し、市民への周知は広報やホームページなどで行います。市の防災無線の全国瞬時警報システムへの対応は計画の中で検討します。

(問) 昨年の3月議会で、交番増設を要望したが、増設は難しく、それに代わる施設を研究するということだった。その後のさらなる安全安心なまちに対する対策は。また交番に代わる施設についての検討はどうだったか。さらに、青色回転灯の自主防犯活動への貸し出しを検討してはどうか。

(答)市長 昨年、犯罪や事故のない、安全で安心して暮らせる吉川市を築くため、「安全安心都市宣言」を制定した。この理念に向け、「吉川市防犯計画」の策定に着手した。市内各地域で防犯パトロールを行っている各ボランティア団体の組織化を図るため、防犯隊連絡会の設置に向けて準備を進めている。防犯